

3月2日（水）本年度第32回（通算 第2813回）

「水と衛生月間によせて」

担当/理事会・社会奉仕委員会

12時30分～釧路プリンスホテル

◆お客様と来訪ロータリアン

小林 貢様（終身会員）

◆メーカーシップ

◆出席報告【会員総数 74 名 免除 6 名 出席計算に用いた会員数 74 名】

本日の出席率 出席者 35 名 メーカーシップ 0 名 出席率 47.3%

前々回の修正出席率 出席者 50 名 メーカーシップ 3 名 出席率 78.3%

◆ニコニコ献金（今年度累計 441,000円）

- ・工藤、福田両副幹事よろしくお願ひします ～佐渡 正幸君
- ・本日の例会よろしくお願ひします ～中島谷 友一朗君
- ・本日お話しします。ご静聴お願ひします ～工藤 健司君
- ・お世話になっております ～小松 亮次君
- ・ご無沙汰しておりました ～高橋 貢君
- ・歓迎会ありがとうございました ～野口 英寿君、山岸 弘典君
- ・お久しぶりです ～萩原 昭博君
- ・本日のプログラム宜しくお願ひします ～福田 雅嘉君
- ・工藤さん、福田さん本日よろしくお願ひします ～本間 弘人君

◆会長挨拶

《佐渡会長》



皆さん今晚は、本日の3月第1例会にお越し頂きまして誠にありがとうございます。
先程、幹事からも報告が有りました通り、出席率を向上しようと言う事で、一つの試みで
ありました、100%に近づけようと言う事でしたが、中々その数字には達しな
かったと言う部分でございます。この部分については私の重点目標でございますので諦め
ずに森山委員長と協議をしながら、集団メーカーシップ等も使いながら何とか頑張ってい
きたいと思っておりますので、森山委員長どうぞよろしくお願ひいたします。

早いもので、この会長職8ヶ月を過ぎた所で、残り4か月となったと言う事でございます。
改めて皆様の友情と愛情に感謝申し上げるしだいでございますが、やはりこの会長職を引
き受けた中で思っている事は、人と言うのはやはり色々な所で揉まれて成長して行くのだ
と思っております。特に役職を受けた中における責任が伴ってきますので、その責任と
言う中で本当に成長させて頂いているのだと感じております。中国の昔からの思想にも有
ります通り、陽があつて陰が有ると言う陽陰学でございますが、物事のあらゆる事象、森
羅万象においては、その陽が有つて陰があり、陰が有つて陽が有る事によって全てが成り

立っている、その陰の部分が強かったり陽の部分が辛かったりするとバランスが崩れて中々物事が進まないと言う思想が有りますが、まさにその通りだと言う事が色々な場面を感じさせて頂いておる所でございます。太陽が陽であれば、月が陰であり、このロータリーにおいては会長が陽であれば、幹事が陰であり、時にはそれが逆になると言う事でその一つ一つのバランスが成り立って物事は無事進んで行くのだと思っております。今月のテーマであります「水と衛生月間によせて」と言う事で、今日は両副幹事にお話をさせて頂きます。方や上水道について、方や下水道についてと言う事で、まさに「水」と言う我々の生活に欠かす事が出来ない物、その衛生が保たれていると言う部分についても陽の部分、陰の部分が有るのだと思っております。これから残すところ4か月余りですが、皆様の影・日向からのご協力を頂いた中で最後まで進んで行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日どうぞよろしくお願いいたします。

◆幹事報告

《中島谷幹事》



パーソナルボックスへ1点

1. ロータリーの友3月号、ガバナー月信

回覧として4点

1. 3月例会プログラム案内が東、西、南、ベイ、浜中、根室の各RC様。
2. 例会会報が根室RC様。
3. 3月12日開催「IM」タイムスケジュール。
4. 釧路北RACから3月例会のご案内。

報告（口頭）として4点

- ・2月17日開催の例会におきまして出席率100%を目指そうと皆様のご協力を頂きましたが、出席率63.2%という結果になりました。森山出席委員長とも相談の上、再度100%出席達成例会を設けたいと考えます。詳細が決まりましたらご案内いたします。
- ・次週例会は職場訪問例会ですが、例会自体は12:30より当会場にて行いますのでお間違えのないようお願い致します。
- ・3月7日（月）12:30～、釧路西RC例会において「ローターアクトについて」と題し釧路北RAC小甲会長・斎藤幹事が卓和をします。参加されます会員は幹事まで申し出下さい。
- ・今月のロータリーレートは先月の120円から変更になり、1ドル116円です。

「水と衛生月間によせて」

第1部「上水道」～くしろの命の源～工藤健司副幹事より



古代の土木工学による偉業の中でも、ローマの水道は特に際立っています。古代ローマの総督で水道管理官であったセクストゥス・ユリウス・フロンティヌス（西暦35年 - 103年ごろ）は、こう書きました。「水を非常に多くの場所に供給するのに必要不可欠な、これほど広範囲にわたる構造物を、その気があるならば、無駄なピラミッドや、有名ながらも無用なギリシャの芸術作品と比べてみよ」。と言いました。都市の発展に必要なのはピラミッドではなく水道なのだとのことです。

一方で世界に目を向けると、現在水は「石油」と同じように各国で争奪戦を行っています。「蛇口からきれいな水が出るのは当たり前」と考える日本人が多い中、国際石油資本「石油メジャー」と同じように「水メジャー」が世界では台頭しているのです。2025年にはその市場規模は100兆円を超えるといわれています。公共団体が水を供給するのが当たり前な日本は水道技術やシステムは世界トップクラスにも関わらず、その市場からは大きく遅れをとっています。

今後の地球でも「安心安全な水の確保」は国家の命題であり、また多額の費用をかけて建設された水道はその国の豊かさのバロメーターとも言えます。安全な水道にはお金がかかるのです。お金がかかるのです。

その恩恵を預かる我々は「石油」と同じように大切に「水」を使用しなければなりません。（一部抜粋）



第1部「下水道」～下水道の仕組み～福田雅嘉副幹事より



釧路市下水道事業の概要をみてみますと、下水道とは私達が生活する中で毎日欠かせないものが水です。家庭や学校、工場、店などで使った水（汚水）が直接、川や海に流れ出て水が汚れることがないように、汚水を集めて処理をしてから、川や海に流すのが下水道の役目です。皆さんの家庭では、水洗トイレが使えるようになり衛生的で快適な生活ができるようになります。害虫の発生を防いだり、伝染病の予防をしたり、まちの中を清潔に守ります。また、大雨が降り浸水する低い場所でも、すぐに排水できるようにするのも下水道の役目です。

皆さんが使用した排水の汚濁負荷削減として、台所から流す汚水を魚が棲める水質に戻すためにどれだけの水量が必要か見てみましょう。

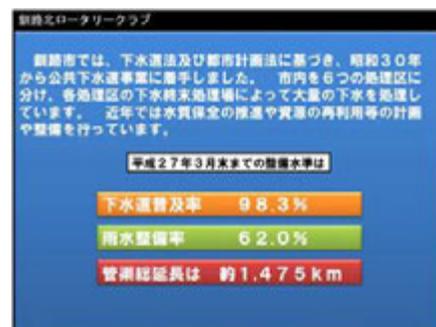
- ・みそ汁 1杯を200mlとして1,600ℓ(お風呂の浴槽を200ℓとして8杯分)
- ・ラーメンの汁 300mlとして1,600ℓ(浴槽8杯分)
- ・牛乳コップ1杯を180mlとして2,800ℓ(浴槽14杯分)
- ・天ぷら油 500mlとして150,000ℓ(浴槽750杯分)が、必要となります。

よって、台所からの汚濁負荷の削減として、取り組むべき事としては、

- ・調理くずや食べ残しは、くずとりネットなどで回収して流さないように努めること。
- ・食器や鍋等のひどい汚れや油は、紙等で拭いてから洗うように努めること。
- ・味噌汁やめん汁等は、残して捨てることのない量を作るように努めること。
- ・使えなくなった油は、流しに流さないように努めること。
- ・台所から出るゴミを粉砕して水に流すディスポージャーを使用しないこと。

などが、あげられます。

市民一人一人がこれらを実践して、環境にやさしい取り組みをする事により、下水道維持管理に於ける様々な経費削減にもつながっていくという事になります。



釧路北ロータリークラブ

皆さんが使用した排水の汚濁負荷削減として

●台所から流す汚水を魚が棲める水質に戻すために必要な水量

みそ汁	1杯を200mlとして	1,600ℓ(浴槽8杯分)
ラーメンの汁	300mlとして	1,600ℓ(浴槽8杯分)
牛乳コップ	1杯を180mlとして	2,800ℓ(浴槽14杯分)
天ぷら油	500mlとして	150,000ℓ(浴槽750杯分)

●台所からの汚濁負荷の削減として取り組むべき事

- 調理くずや食べ残しは、くずとりネットで回収して流さない。
- 食器や鍋等の汚れや油は、紙等で拭いてから洗うようにする。
- 味噌汁・麺の汁等は、残して捨てることのない量を作る。
- 使えなくなった油は、流しに流さないようにする。
- 台所から出るゴミを粉砕して水に流すディスポージャーを使わない。